

サステナビリティ推進活動

2024年4月16日

株式会社日阪製作所

管理統括本部 サステナビリティ推進室

古着 de ワクチンまごころプロジェクトに参加しました

日阪製作所は「古着 de ワクチンまごころプロジェクト」（以下、古着 de ワクチン）に参加し、不要になった衣類の回収、利活用を通じてポリオワクチンの提供などを行う社会貢献活動を実施しました。

近年、途上国における繊維製品の大量廃棄が環境問題となり、大量生産され役目を終えた衣類が資源循環されることなく途上国に輸送・放置され、大きな社会問題となっています。こういった環境問題の重要性の認識が高まるなか、当社プロセスエンジニアリング事業で手掛けてきた染色仕上機器においては、主力製品である「Circular（サーキュラー）」の省エネルギー・節水といった取組みに注力してきました。同機器が使用される染色整理業は、排水や排ガスによる自然環境への負荷が大きいことから水・エネルギー多消費型産業とされていますが、当社は繊維産業における環境負荷低減にも貢献してまいりました。

そしてこの度、当社事業活動と親和性が高く、衣類の適正回収や再利用等を通じたサーキュラーエコノミー※の実現に寄与する社会貢献活動として、古着 de ワクチンに参加しました。

※循環型経済：限りある資源を持続可能な形で有効利用すること

具体的には、衣替えや大掃除の時期である2023年11月～12月に、家庭で不要になった日常衣類等の回収を実施し、社員の家族や社外関係者からも多くの協力をいただきました。結果として、日常衣類や当社の旧作業服をはじめ、カバン、靴など、1500アイテム以上の古着の再利用につながり、ポリオワクチン150人分の接種機会や障がい者の雇用機会の提供に繋げることができました。

社会貢献活動は当社社員一人ひとりの社会課題に対する参画意識の醸成をはじめ、当社CSR-SDGsビジョン実現への貢献、ひいてはステークホルダーとの信頼関係を築く重要な手段であると認識しております。今後も継続して社会貢献活動に取り組んでまいりますので、皆様のご認識とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

■回収風景



■日阪製作所の古着 de ワクチン実施に対するエンドースメントコメントのご紹介

「古着 de ワクチンまごころプロジェクト」を運営され、本取り組みの普及推進をされている、日本リユースシステム株式会社の荒井様より、以下のエンドースメントコメント※をいただいております。※支持や賛同のコメント

この度は「古着 de ワクチン まごころプロジェクト」の活動にご参加をいただき誠にありがとうございます。日阪製作所の社員の皆様をはじめとし、衣類を贈っていただいた皆様に感謝申し上げます。

古着 de ワクチンをご不要になった衣類を捨てずに活かし、開発途上国の子どもたちにポリオワクチンを贈ることができるお片づけ商品です。その過程で国内外障がいのある方のお仕事にもつながり自立を支援しております。

古着 de ワクチンは活動を通して SDG s の 9 個のゴール達成に貢献し、第三回日本政府主催 SDG s パートナーシップ賞を受賞いたしました。

2024 年 1 月現在、古着 de ワクチン取り組み全体で累計 620 万人以上の開発途上国の子どもたちの命を救うことができ、4,900 万着分以上の衣類を世界中で有効活用いたしました。

今後も活動を通して、循環型社会の実現を目指してまいります。

この度は趣旨にご賛同いただき、誠にありがとうございました。

以上